平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月9日

上場会社名　カネソウ株式会社　　上場取引所　名
コード番号　5979　URL　http://www.kaneso.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 近藤　健治
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長　(氏名) 南川　智之　TEL 059-377-4747

四半期報告書提出予定日　平成24年11月12日　配当支払開始予定日　平成24年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,336	12.6	179	―	158	―	101	―
24年3月期第2四半期	2,963	△1.7	△46	―	△61	―	△43	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	7.13	―
24年3月期第2四半期	△3.06	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,376	13,527	88.0
24年3月期	15,605	13,536	86.7

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　13,527百万円　24年3月期　13,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	7.50	―	7.50	15.00
25年3月期	―	7.50			
25年3月期(予想)			―	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	7.1	515	76.5	470	83.9	290	178.1	20.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	14,400,000 株	24年3月期	14,400,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	159,941 株	24年3月期	159,941 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	14,240,059 株	24年3月期2Q	14,240,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信〔添付資料〕 3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間における国内経済は、震災からの復興需要や個人消費に支えられて緩やかに持ち直してまいりました。しかしながら欧州における債務問題を背景として中国をはじめ海外経済が減速感を強めたことに加え、円高や長期化するデフレなど不透明感は強いものとなりました。このような状況の下、建設関連におきましては停滞していた工事や抑制されていた設備投資の緩やかな回復など改善の動きが出てまいりました。その結果、売上高は33億36百万円(前年同四半期比12.6％増)となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。鋳鉄器材は建築関連の改善から排水関連製品が増加したことと外構、景観関連製品も堅調でありましたことから、10億55百万円(同10.2％増)となりました。スチール機材は福祉関連製品の増加と設備投資がやや改善したことから関連製品が増加し、6億32百万円(同4.5％増)となりました。製作金物は建築、外構工事の改善から建築金物等が増加し、防災関連製品も堅調でありましたことから、13億35百万円(同22.3％増)となりました。その他は建機、機械向け製品が海外需要の減速感から伸びを欠きましたが、公共土木需要向けがやや改善し、3億13百万円(同1.6％増)となりました。

利益につきましては、価格競争など厳しい販売環境にありますが、原価低減に努めるとともに材料価格が低下傾向にありましたことと生産が回復基調で推移したことから、売上総利益は11億15百万円(同28.4％増)となりました。また販売費及び一般管理費につきましても諸経費の低減に努めました結果、営業利益は1億79百万円(前年同四半期は46百万円の営業損失)となりました。営業外収支につきましては金利が低位に推移しており受取利息等の増加は限られたものとなりました。その結果、経常利益は1億58百万円(前年同四半期は61百万円の経常損失)となり、四半期純利益は1億1百万円(前年同四半期は43百万円の四半期純損失)となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第２四半期会計期間末の財政状態は、総資産は前事業年度末に比べ2億29百万円減少し153億76百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ11億34百万円増加し91億70百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が2億26百万円減少しましたが、現金及び預金が１年以内満期の長期預金の増加等により12億75百万円、たな卸資産が仕入の増加により1億3百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ13億63百万円減少し62億5百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産が償却の進捗等により56百万円、長期預金が１年以内への振替により13億円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ2億19百万円減少し18億49百万円となりました。その主な要因は、流動負債のその他が未払金の減少等により1億8百万円、未払法人税等が78百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ9百万円減少し135億27百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が当第２四半期純利益の計上が1億1百万円あったものの、前事業年度の配当金の支払いが1億6百万円あったことにより5百万円減少したこと等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、復興に向けた動きとともに、国内経済は引き続き内需を基に、民間設備投資や公共事業の改善が見込まれます。一方で日本経済のおかれた環境は長きにわたり厳しい状況にあって、世界情勢の変調が拡大するなど不安感も大きくなっております。このような状況の中で建設関連需要にも影響が拡がってくることが予想されます。当社におきましてはより良い製品開発を進め、市場における多様なニーズをとらえ受注獲得に努めてまいります。また継続的な原価低減への改善を進めるとともに、より一層の顧客満足と業績改善に注力してまいります。

これらの状況を踏まえ、通期の業績予想につきましては、平成24年５月11日に公表した数値から変更はございません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第２四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,410,946	6,686,655
受取手形及び売掛金	1,587,504	1,361,255
製品	501,191	598,417
仕掛品	80,359	83,125
原材料及び貯蔵品	376,335	379,664
その他	80,951	62,492
貸倒引当金	△798	△682
流動資産合計	8,036,491	9,170,929
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,735,723	1,733,768
その他（純額）	1,349,495	1,294,697
有形固定資産合計	3,085,218	3,028,465
無形固定資産	3,882	2,601
投資その他の資産		
投資有価証券	60,324	55,280
長期預金	3,950,000	2,650,000
その他	481,219	480,825
貸倒引当金	△12,000	△12,000
投資その他の資産合計	4,479,544	3,174,106
固定資産合計	7,568,645	6,205,172
資産合計	15,605,136	15,376,102
負債の部		
流動負債		
買掛金	290,911	275,913
未払法人税等	123,250	44,401
賞与引当金	47,676	51,210
その他	322,597	213,602
流動負債合計	784,436	585,127
固定負債		
退職給付引当金	301,066	291,778
役員退職慰労引当金	393,851	376,928
その他	589,559	595,262
固定負債合計	1,284,478	1,263,970
負債合計	2,068,914	1,849,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,000	1,820,000
資本剰余金	1,320,000	1,320,000
利益剰余金	10,454,194	10,448,950
自己株式	△68,685	△68,685
株主資本合計	13,525,508	13,520,264
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,713	6,740
評価・換算差額等合計	10,713	6,740
純資産合計	13,536,222	13,527,004
負債純資産合計	15,605,136	15,376,102

（２）四半期損益計算書
第２四半期累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	2,963,533	3,336,004
売上原価	2,094,762	2,220,308
売上総利益	868,771	1,115,696
販売費及び一般管理費	915,322	936,146
営業利益又は営業損失（△）	△46,551	179,549
営業外収益		
受取利息	10,854	12,368
受取配当金	1,072	1,076
不動産賃貸料	9,482	9,480
その他	6,881	2,544
営業外収益合計	28,291	25,470
営業外費用		
支払利息	9,062	8,819
売上割引	30,146	34,661
その他	3,830	3,478
営業外費用合計	43,039	46,959
経常利益又は経常損失（△）	△61,299	158,060
特別利益		
固定資産売却益	56	－
特別利益合計	56	－
特別損失		
固定資産除却損	216	－
減損損失	－	1,955
特別損失合計	216	1,955
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△61,459	156,105
法人税、住民税及び事業税	3,411	41,974
法人税等調整額	△21,326	12,574
法人税等合計	△17,915	54,548
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△43,544	101,556

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成 24 年 11 月 9 日

平成 25 年３月期　第２四半期決算発表　参考資料

カネソウ株式会社

１．業　　績（累計）

科　　目	金　　額	前 年 同 四 半 期 比
売　　上　　高	33 億 36 百万円	12.6 % 増
営　　業　　利　　益	1 億 79 百万円	―
経　　常　　利　　益	1 億 58 百万円	―
四　半　期　純　利　益	1 億 01 百万円	―
1 株当たり四半期純利益	7 円 13 銭	（前年同期　△3 円 06 銭）

製品分類別売上高の状況

製　　品　　分　　類	売上高（百万円）	構成比（%）	前年同四半期比（%）
鋳　　鉄　　器　　材	1,055	31.6	10.2
ス　チ　ー　ル　機　材	632	19.0	4.5
製　　作　　金　　物	1,335	40.0	22.3
そ　　の　　他	313	9.4	1.6
合　　計	3,336	100.0	12.6

２．配　　当

中間配当は、1 株当たり 7 円 50 銭を実施する予定であります。（前年同四半期　7 円 50 銭）

３．財政状態

総資産　153 億 76 百万円、純資産　135 億 27 百万円、自己資本比率 88.0%、
1 株当たり純資産額 949 円 93 銭であります。（株式数　14,240 千株）

４．通期（平成 25 年 3 月期）の業績予想

区　　分	第２四半期実績(累計)		通　期　予　想	
	金額（百万円）	前年同期比（%）	金額（百万円）	前期比（%）
売　　上　　高	3,336	12.6	7,500	7.1
営　　業　　利　　益	179	―	515	76.5
経　　常　　利　　益	158	―	470	83.9
第2四半期（当期）純利益	101	―	290	178.1

製品分類別売上高の計画（通期）

製　　品　　分　　類	売上高（百万円）	構成比（%）	前期比（%）
鋳　　鉄　　器　　材	2,400	32.0	8.1
ス　チ　ー　ル　機　材	1,470	19.6	5.5
製　　作　　金　　物	3,000	40.0	8.9
そ　　の　　他	630	8.4	△0.7
合　　計	7,500	100.0	7.1

５．設備投資及び減価償却費（有形固定資産）

	第２四半期実績	通　期　計　画
設　備　投　資　額	45 百万円 金型等の取得等	3 億 30 百万円 加工設備更新、金型等
減　価　償　却　費	1 億円	2 億 40 百万円

※　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。